

イベント情報 (4月～6月)

電話 (04-2934-4396) で博物館までご連絡ください。
また、公式ホームページからもお申し込みできます。

◆**里山ようちえん「カエル組・オタマ組」**
こどもの成長段階や好奇心に合わせてながら、親子で里山の自然の中で遊びます。お弁当持参。
お茶とお菓子付き。
※参加対象年齢がありますのでご注意ください。

【カエル組】
日 時：4月8日(日) 10:00～13:30
対 象：H30年4/1時点で満4・5歳児と保護者
定 員：20名
参加費：親子2名で1000円1名追加ごと500円
要申込：定員に達したため、締切しました。

【オタマ組】
日 時：4月11日(水) 10:00～13:30
対 象：H30年4/1時点で満2・3歳児と保護者
定 員：20名
参加費：親子2名で1000円1名追加ごと500円
要申込

◆**みどり森ガイドウォーク**
当日募集型のガイドウォークです。案内所から大谷戸湿地周辺のみどころを1時間程度でご案内します。
どんなテーマになるかは当日のお楽しみに！

日 時：4/7(土) 13:00～
4/28(土) 13:00～
5/4(金・祝) 11:00～
6/30(土) 13:00～

対 象：どなたでも
定 員：15名
参加費：無料
要申込：当日10時から案内所にて受付

◆**みどり森「大人のスローキャンプ」**
里山の自然の中で行う大人向けのキャンプです。キャンプをやったことない方も大歓迎！たき火や野外料理など、テント泊で春の里山をゆったり過ごしてみませんか？
詳しくはHPをご覧ください。

日 時：4月21日・22日(土・日)
10:00～翌日11:00

対 象：大人 20代～40代
定 員：20名
参加費：10000円(学生9000円)
要申込：4月7日までに申し込みください

◆**親子はじめての自然観察**
春真っ盛りのみどり森で、親子参加型の自然観察会を行います。

日 時：5月5日(土・祝) 9:30～12:00
対 象：小学生と保護者
定 員：20名
参加費：100円
要申込：4月5日から受付開始します。

◆**食育体験教室「田んぼでお米を作ろう！」**
みどり森にある、昔ながらの湿地を使った田んぼでお米作りをします。お米を育てるところから、収穫して食べるまでの過程を体験し、お米作りの大変さや楽しさ、食べものの大切さに気づく、全7回の食育体験教室です。

日にち：【第1回】5/13(日) 【第2回】5/27(日) 【第3回】7/1(日)
【第4回】8/5(日) 【第5回】9/2(日) 【第6回】10/7(日)
【第7回】10/21(日) ※各日、雨天により延期となる場合があります

時 間：10:00～15:00
対 象：小学生以上(小学生は保護者と参加、全7回参加可能な方)
定 員：50名 要申込み
参加費：4500円(全7回分)
要申込：現在お申込み受付中

◆**大人の自然観察会**
さまざまな動植物が見られるみどり森で大人向けの自然観察会を行います。自然界の営みを再発見。初心者向けです

日 時：4月29日(日) 9:30～12:00
対 象：中学生以上
定 員：20名
参加費：100円

◆**ボランティア養成講座**
みどり森でボランティア活動を希望する方向けの連続講座です。全日程終了後に「みどり森ボランティア会」に登録できます。

日 時：5月12日(土) } 10:00～15:00
6月2日(土) }
6月17日(日) }

対 象：中学生以上
定 員：20名
参加費：300円(全3回分)
要申込：4月12日から受付開始します。

博物館からのお知らせ

～散策時の注意事項～

園内に咲いている植物は、採取しないようお願いします。
特にこれからの時期、たくさんのお花が見ごろを迎えますが、採取されてしまうと種子ができず、植物が個体数を増やすことができなくなってしまいます。
現在、採取により年々減っている植物もありますので、そっと見守ってください。
散策・観察マナーにご協力をお願いいたします。



博物館の利用案内

◆**緑の森博物館の利用ルール**◆
緑の森博物館では、以下の7つのルールを守って楽しく過ごしていただくようお願いしています。

- 1) 植物や野鳥、小動物、昆虫等の生きものをむやみにとったり、傷つけたりしないでください。
- 2) 他から持ち込んだ動植物(外来種)を放さないでください。
- 3) 原則として広場や観察路以外の場所に入らないでください。
- 4) 犬などのペットを放さないでください。(フンの後始末もしっかりと行いましょう)
- 5) 車道以外の場所には、自転車やバイクで入らないでください。
- 6) バーベキューや花火など火を使わないでください。
- 7) ゴミは持ち帰りましょう。

◆**アクセス**◆

■公共交通機関をご利用の場合■
小手指駅南口より西武バス
「宮寺西」または「金子駅入口」行き乗車、約25分
「荻原バス停」下車、徒歩約10分

■案内所までの地図■
右のQRコードを読み込むと緑の森博物館のHPのアクセスページが開きます。(一部、携帯電話では確認できない機種があります)

■ご来館時のお願い■
駐車スペースに限りがありますので電車・バスをご利用ください。



発行年月 2018年4月
発行 さいたま緑の森博物館
住所 〒358-0014 埼玉県入間市宮寺889-1
TEL/FAX 04-2934-4396

開館時間 9:00～17:00 【入館無料】
休館日 月曜日、祝日の翌日(その日が祝日の場合をのぞく)
公式HP <http://saitama-midorinomori.jp/>
指定管理者 株式会社自然教育研究センター

さいたま緑の森博物館ニュースレターは、みどり森の様々な情報を年4回お届けいたします

さいたま緑の森博物館
ニュースレター
Saitama Midori-no-mori Nature Park

はくぶつかんだより No.29

にぎやかなみどり森の春♪

今年も春がやってきました！
最初に目を覚ましたのは、アカガエルやヒキガエルなどのカエルたち。池や田んぼには、たくさんの卵塊が産み付けられ、孵化したオタマジャクシが元気に泳ぎ回っています。次に目を覚ましたのは、スミレなどの小さな花。健気にひっそりと咲いています。ヤマザクラが咲き始めると、森の中は一気に目を覚まします。ウグイスたちがさえずり始め、花や新緑といった見た目だけではなく、聞こえてくる音にもぎやかに。



春の森でさえずるウグイス

森や生きものがにぎやかになり、気分も上々になる春。何も考えずに歩いていても、たくさんの発見があり、楽しくなってしまいます。
市街地からほど近く、自然を気軽に堪能できるみどり森に、ぜひお越しください。風景を見たり、音に耳を傾けながらお昼を食べるだけでも気持ち良いですよ♪

今号のニュースレターは・・・

春は生きものたちが続々と動き出す季節ですね。今号の特集は、春の野で目にすることも多い「チョウ」をとりあげます。春のみどり森に現れる蝶たちをご紹介します。

みどり森 里山広辞苑

緑の森博物館がテーマとしている雑木林や湿地・文化などについて、No.11～28号まで毎号キーワードを挙げて紹介してきました。今回はこれまでの里山広辞苑のキーワードを目次として掲載します。

No.25 「狭山茶」 茶摘み		No.24 「雑木林管理の道具(冬)」 熊手 クスハキカゴ マサカリ ノコギリ ヤ(クサビ) ショイタ		No.23 「みどり森周辺の 年中行事」秋冬編 オカマ様 エビス講		No.22 「西久保観音の鉦はり」 鉦はりの歴史 双盤鉦		No.21 「里山の恵み」春 春の七草 春の野草 アカガエル		No.20 「小正月」 マユタマ正月 女正月		No.19 「養蚕」		No.18 「八十八夜の別れ霜」 種振り/粉振り 畦畔茶		No.17 「里山広辞苑」 目次	
No.16 林床の植物 谷戸田		No.15 伐採 萌芽更新		No.14 ため池 かいぼり		No.13 谷戸 湿地		No.12 落ち葉掃き 柴刈り		No.11 里山 雑木林		No.10 雑木林		No.9 雑木林		No.8 雑木林	

※No.19は里山広辞苑を記載しておりません

パート1 春の「チョウ」

春の野をイメージするとき、花とその蜜を吸いに来るチョウを思い浮かべる人も多いのでは？ うららかな春の陽気に誘われるように現れる昆虫、チョウ。みどり森で春に見られる主なチョウをご紹介します。

ちょっと専門用語

- 発生** チョウが卵から成虫になるまでの世代のこと。特に成虫がでてくる時期や回数を示します。年1回発生するものや、春から秋まで世代交代しながら2～3回発生するものなど、種類によってさまざま。
- 食草** 幼虫が食べる植物のこと。木の葉を食べるときは食樹ということもある。
- 越冬** 冬を越すこと。とくに幼虫越冬、成虫越冬など、冬の時の越冬態を示すのに使われる。

成虫で越冬して早春から見られるチョウ！

成虫の姿で越冬しているので、あたたかい日には冬でも日光浴する姿を目にします。厳しい寒さを乗り越え、春先に見るものの中には、はねの鱗粉が落ちてボロボロの個体も。その後は年1～数回発生します。

- マーク：みどり森で成虫が見られる時期
- マーク：幼虫の食草・食樹

ヒオドシチョウ (タテハチョウ科)

3～4月、6月 エノキの葉

初夏にかけて年1回発生。春先の個体ははねが真夏に姿が見られなことから、高原へ避暑とも言われていたが、現在は夏眠しそのまま冬眠する説が有力。



オレンジ色のはねに、後ばねの縁に青い星

キタテハ (タテハチョウ科)

3～11月 カナムグラの葉

平らなところにとまる傾向がある。秋まで世代交代しながら複数回発生し成虫が見られる。夏と秋でははねの色が違い、夏は黄色、秋はオレンジ色が強くなる。



オレンジ色のはねに茶色の斑点もよう。

ルリタテハ (タテハチョウ科)

3～4月、6～11月 サルトリイバラなどの葉



成虫は花の蜜のほか樹液も吸う。年3回ほど発生する。

紺色のはねにうすい水色の帯。はねを閉じると裏は枯葉色。

テングチョウ (タテハチョウ科)

3～4月、5～6月、9～11月 エノキの葉

秋まで年2回発生する。春に見られるのは、秋から成虫越冬した個体。



頭部が天狗の鼻のような突起がある。

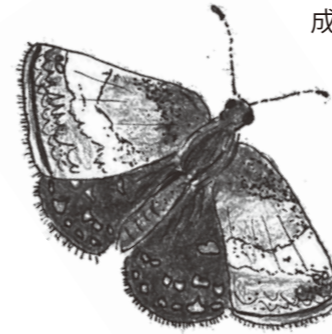
茶色いにはねにオレンジ色の太柄なもよう。

春にだけ会えるチョウ！

年1回春にだけ発生。成虫が産んだ卵はすぐにふ化し、幼虫や蛹は翌年の春まで休眠します。

ミヤマセセリ (セセリチョウ科)

3～4月 コナラ、クヌギなどの葉



幼虫で越冬し早春に蛹化。4月上旬には成虫が出現する年1回発生チョウ。幼虫は秋までコナラなどの葉を食べながらゆっくり成長する。

こげ茶色のはね。後ばねに黄色の斑点が目立つ。

メスの前ばねには白い斑がある。

コツバメ (シジミチョウ科)

4月 ヤマツツジ、ガマズミなどの花

4月上旬には成虫が出現する年1回発生チョウ。幼虫は5月には蛹になり、そのまま蛹で越冬する。

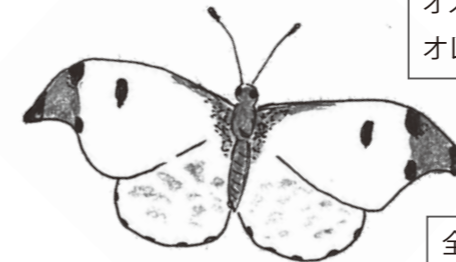
はねの裏は茶色が基調。



ツマキチョウ (シロチョウ科)

4～5月 アブラナ科の花や実 やや小さめの白いチョウ。

初夏、早々に蛹になり、そのまま蛹で越冬する。4月上旬には新成虫が出現する。



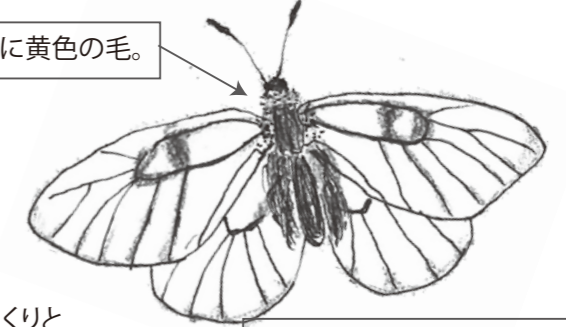
オスははねの先にオレンジ色の斑がある。

全体に白いはね。

ウスバシロチョウ (アゲハチョウ科)

5月 ムラサキケマンの葉や茎

前胸部に黄色の毛。



ゆっくりと滑空するように飛ぶ。

はねの鱗粉が少なく透明。

日が陰るとすぐに姿を隠す。

成虫が産んだ卵はすぐにはふ化せず、卵で越冬する。

どこで会える？ 春のチョウスポット



- 1 西久保湿地のヨシ原でルリタテハに会えるかも！
- 2 疎林広場でミヤマセセリに会えるかも！
- 3 雑木林広場のあずま屋周辺にはウスバシロチョウのほかいろいろなチョウに会えるかも！
- 4 展望広場はヒオドシチョウやテングチョウに会えるかも！ここでは紹介していないチョウにも会えそう！
- 5 大谷戸湿地の草原にキタテハやルリタテハに会えるかも！

～おねがい～

さいたま緑の森博物館は野外の動植物そのものが展示の野外博物館です。誰もがいつでも観察ができるように昆虫などの採取はご遠慮下さい。

【参考文献】

野外ハンドブック2蝶(山と溪谷社) フィールドガイド日本のチョウ(誠文堂新光社) 新版 東京都の蝶(けやき出版) 蝶の幼虫探索-神奈川県とその周辺地-(相模の蝶を語る会)